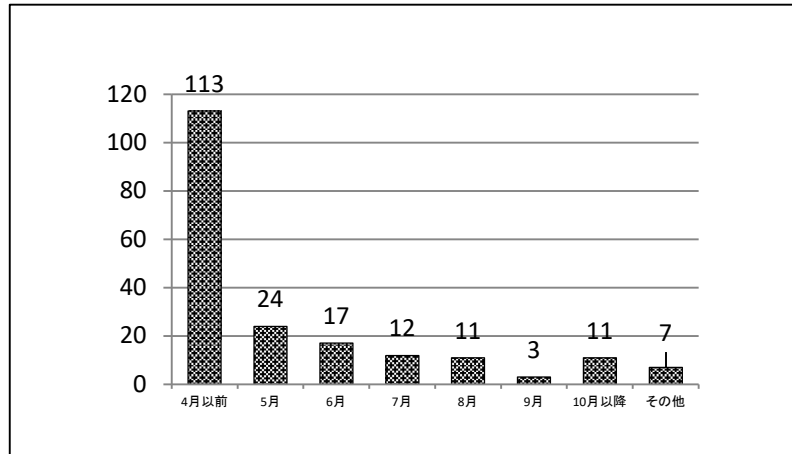


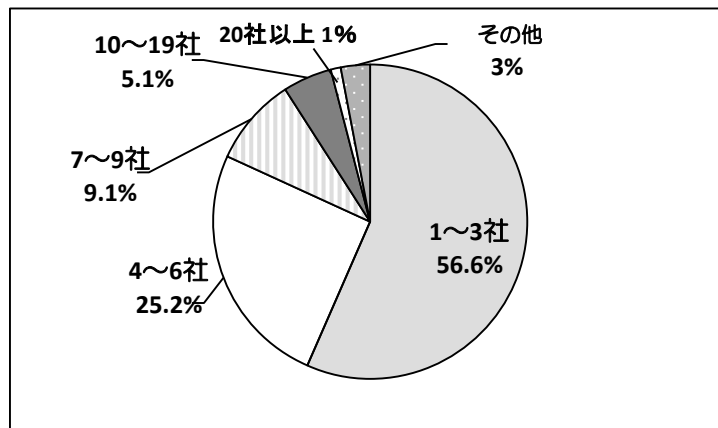
令和8年3月 専門課程就職希望者内定状況調査

- ・調査対象校 都内の私立専門学校 331校
- ・回答校 10月分 224校 (67.7%)、12月分 216校 (65.3%)、2月分 209校 (63.1%)
- ・調査項目 1) 就職希望者数 2) 内定者数 3) 関連分野への内定状況
4) 就職・事業所が東京都内にある人数 5) 就職活動開始時期
6) 一人あたりの訪問企業数 7) ハローワークの利用状況
8) 令和7年3月卒業者の就職状況等について

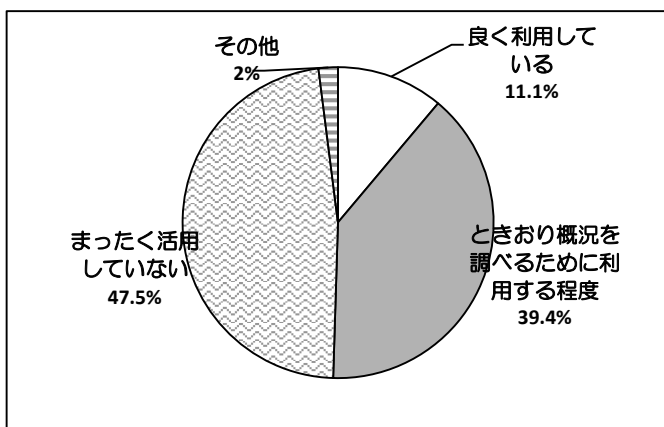
1 就職活動開始時期



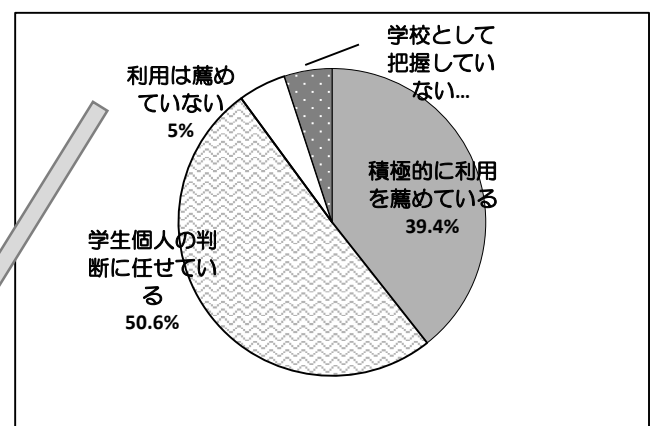
2 一人あたりの訪問企業数



3 ハローワークの利用状況



4 インターネット就職情報サイト利用状況



4 インターネット就職情報サイトの利用を薦めない理由 (抜粋)

- ・実習施設等、各施設との付き合いがあるため
- ・学生の個人情報入力が必要であったり、サイトは内容の誤りがあるため
- ・学生の特性を把握している教員がかかわることで就職先のミスマッチを防ぎ、離職率を下げるため

【令和8年3月卒業者を対象とした求人に関する各校からのコメント】

■第1・2分野－工業・農業関係

- 留学生の増加により、日本語能力試験や運転免許の取得を早い時期に開始できるよう、入学時より指導しております。しかしながら、日本語能力が上がらず N2 試験が合格できず就職活動が遅くなってしまったり、活動の許可が取得できない学生もいます。年々留学生のレベルが低下しているようにも思います。
- 近年エンターテインメント業界でも採用選考の早期化が顕著である。早い企業だと本校1年生のうちに内定が出ることもある。早期化対策として就職関連授業に加え1年生のうちに就職イベントを複数回実施することで、学生の就職意識を早くから芽生えさせるよう誘導している。
- 留学生採用が厳しくなっている。
- 地方と東京の賃金待遇差がかなりある。
- 各企業とも人員不足が続いており、自動車整備士は売り手市場となっています。1社目の受験で内定をもらう学生が多くいます。
- 日本人学生はおおむね積極的に動いた学生は1か月以内には内定を取得。極端に意欲が低い学生以外は早期内定を取得した。意欲が低い学生はあまり急かすと逆に委縮するため、冬頃にサポートすることになったが、学生によっては遅くなる分求人が残っていないこともあった。今後は1年次より活動が遅くなることへのリスクをいっそう指導する。
留学生は N1 取得者でも就職活動は困難を極めた。特定技能に方針変更したとて就業先が見つからないケースも。企業側はネイティブレベルを求めているため、学生に自身の就活市場の立ち位置を理解させ、早めの対策、方針決定を促す。
- 以前は、職種で会社選びをする学生が多かったが、本年度は業種で会社選びをする傾向が強かった。例えば、以前は、住宅系の設計での内定がとれなかったら、設計事務所など設計系の仕事に進むことが多かった。でも本年は、住宅の設計職の内定が難しかったら、住宅の施工管理や営業といった業種内での他の職種を選ぶ学生が多くなった。
- 企業の採用意欲は高く、早期に学生を獲得したいため、就職イベントへの参加や学生との接触の機会を求められることが多かった。また学生個々により、動き出しが早く自分である程度就職活動を進められる学生がいる一方、応募までに時間がかかる、自己分析や面接対策が更に必要な学生等ばらつきがあり、学生の二極化が進んでいるように感じた。留学生の採用については、応募は拒んでいないが選考の基準は厳しくなっており、内定獲得までの期間が長期化していた。
- 大きく2極化の傾向が進んでいる。一つは大企業を志望する学生。もう一つは地元に着した企業を志望する学生。割合としては、1:9程度となっている。また、インターンシップ（本校では実務研修）に行った先に内定をするケースが非常に多い。
- 留学生を受け入れる企業がもっと増えてくれるよう弊校の学生の質を向上させる努力をしています。
- 学生各々の希望に沿った就職活動をサポートしているが、全員が希望通りの職種・企業に内定が決まる訳ではないため、多くの業種・職種の求人を学生に触れさせ、選択の視野を広げさせるこ

とに尽力をしている。

■第3分野－医療関係

- 以前は医療事務関連の就職活動は4月以降が通例であったが、近年早期化が進んでいる。
- 医療事務、看護師の分野では世間でも「直美（チョコビ）」と言われているように、新卒で美容医療クリニックへの就職を希望する者が増えてきているが、学校としては最初に美容医療クリニックへ就職してしまうと他機関へ転職することが難しくなってしまうことが懸念されるため、新卒での就職は全般を学ぶことが出来る総合医療機関への就職を薦めている。
- リハビリテーション職においては、近年、採用試験は面接のみという病院・施設が増えているため、これまで以上に面接指導に時間を割くようになってきている。
また、就職後、1～2年以内の離職率が高くなっている印象を受けており、就職に対する意識づけを高めることが今後求められると感じている。
- 小規模の企業への就職が減り、大規模な企業へ集中するようになった。
- 社会人学生が増えており、入学者の平均年齢が上がっている。キャリアチェンジを志し資格取得を志す学生が増えてきているが、一方で年齢がハードルとなり就職が不利になっているケースもある。ただし企業側も人材の確保が難しくなっており、以前よりも年齢条件を緩和する企業も増えてきている。
- 全体的に企業から提示される初任給が高くなったように感じる。
- 就職試験が早まっており、2年生（最終学年）の4から6月にほとんどの学生の内定が決まっている。
- 1年生のうちからインターシップへの参加、エントリーシートへの書き方、面接、オリエンテーションなどを行っている。
- 歯科衛生士の求人は依然多いが、ここ数年で個人医院は減少することが考えられる。ドラッグストアについては大学生の就職辞退が発生し、就職活動終盤になって再募集をかける中小の企業が出てきた。
- 専門の業者主催で企業説明会を年に数回開催し、そこでの就職活動がメインとなっている。
- 今年度は年2回学内合同企業説明会を開催し、学生の進路に対する啓発活動を行った。進路決定率は国試合格率と比例していると感じる。

■第4分野－衛生関係

- 10年後を見据えて、数より質を優先し、より優秀な人材を獲得しようとする企業が多くなってきたと感じる。加えて、福利厚生改善の実施・実施予定の企業が増えている。また、求人票送付の時期が、年々早くなってきている。
- 学生側は売り手市場でゆっくりじっくり（のんびり）動く傾向にあったが、企業側は反面、例年より不採用にする傾向があった。
- 調理師養成校としての歴史が長いから、例年は紙での求人票は大量に頂くが、今年度は前年より

件数が減った。飲食業界は新規出店と撤収が繰り返されており、10年以上続く企業は少ない。求人減少の理由としては、新規企業が養成校へのアプローチではなく、WEBでの募集に切り替えている。今では学生への就職指導においても、就職サイトは無視できないと感じている。

- 本年度はホテル希望者が少なく、カフェや洋菓子専門の小売店を希望する学生が多かった。インターンの期間も長く、学生には公欠や欠席等のやりくりが困難であった。
- 求人については採用実績のある企業から「若手の離職が少ない」という話をよく聞いた。離職が少ないというのは職場環境が良く卒業生が活躍していることなので、とても嬉しいのだが、その分新卒採用に影響が出ているともいえ複雑であった。
- 今年度は、栄養士職・調理職以外での就職内定はありませんでした。資格を活かした就職先となります。留学生の特定技能での就活が目立ちますが、そもそも特定技能ビザを取得の道が最初の認定試験受験を申し込む時点で難しい。受験希望の人数と比べ受験受入数が少なすぎます。在学中の留学生とそうでない在留者との受験会場・時期を変えるべきだと当初から思っています。
- 年々、アレルギーのある学生が増えてきており、就職受け入れ先を探すことに難しさを感じる事案が出てきている。
- 毎年ホテルの求人募集が早く、ホテル希望の2年生は殆どが夏休み8月前に内定している。ただ、1年課程の1年生は、4月に入学して就職の方向性が殆ど決まっていなかったため、10月位からの就活になってしまう。特にホテルを希望する場合は、早くに活動させなければと感じた。
- 例年、就労意欲の乏しい学生が一定数おり、今年度も同様だった。出席状況やコミュニケーションなどの課題があることも多く、指導に苦慮している。
- 企業の勇み足を強く感じる昨今です。今回卒業を迎える学年の学生に対しても、一年次より内定を出すなど、あまりにも酷い状況がみられ、そのサロンには直接クレームをお伝えいたしました。
- サロンが多いため逆に選択できない状況にあり、SNSのイメージだけで安易に選ぶこともある。結果、入社後にギャップを感じ早期の転職・離職につながる可能性があるのではと危惧している。対策としては、見学サロンを複数にし、学生主体での就活から学校も積極的に関与していくスタイルに変換し、より良いマッチングを目指している。
- 自校のアンケート調査により、就職に向けた課題として面接対策の弱さが明らかになった。そこで、面接対策の強化に加え、キャリア教育の時期や内容を見直し指導を改善した結果、学生が自身の考えや想いを的確に伝えられるようになった。

■第5分野－教育・社会福祉関係

- 当校の就職先となる業界は、人手不足が社会問題となっているのもあり、就職に対しては、マイペースに構えている学生が多い。
- 就職活動開始時期は少しずつ早期化の流れになっています。また、実習先への就職割合が増えている傾向にあります。
- 本校保育科卒業生の就職希望が、数年前より幼稚園希望から保育所希望へと明らかに変化してきている。本校保育科卒業生の約7割が保育所勤務を希望している。
- ルールをしっかりと定めていないと安易な内定辞退等が発生しやすいと感じている。

- 合理的配慮が必要な学生に対するキャリア支援に考慮する機会が度々出てきています。スクールカウンセラーの先生とも相談をしながら、学生との向き合い方を検討するとともに、就労移行支援機関の情報収集や連携にも努めています。
- 昨年よりも内定が取れない学生が増加した。保育士不足が慢性化している現場でも、すぐに離職するリスクある学生、マッチングしない学生には無理に内定を出さないようになってきていると感じる。
- 就活に動き出すのが遅い学生が増えている。個別に声掛けをして行動に移させる必要がある。
- 就職活動のルールを厳格に定めていないと安易な内定辞退等が発生しやすい雰囲気がある。また、研修の段階で思っていたのと違うと感じ辞退の相談を受けることもあるが、辞退の重さや袖を通してまず経験してみても判断をするよう話をしている。

■第6分野－商業実務関係

- 近年、各業界ともに実践力・コミュニケーション能力・実務経験に加え、語学力を重視する傾向がみられる。また、生成AIの普及によりエントリーシートを廃止し別の選考方法を導入している企業も増えている。こうした動向を踏まえ、学校としては業界の変化を注視しつつ、授業カリキュラムへ適切に反映することで、引き続き業界への人材供給と学生支援を行っていく。
- 留学生への求人が非常に少なく、未内定者のフォローに追われた。動きだしが遅ければ遅れるほど苦しくなる現状を毎年伝えているものの、どうにかなると楽観的に考えている学生が多いのは毎年変わらない。また技術人文知識国際業務の就労ビザ申請における日本語レベルの厳格化（N2以上）が色濃くなってきたことから、入学当初からJLPT N2レベル取得の指導に注力する必要性を感じた。
- コロナ明けから、留学生が毎年増えている現状では、就職が以前より困難になっていると感じました。また、今年度からN2以上が必須条件の求人が多く見られました。そのため、本校では来年度から入学した留学生に対して、N2レベルの日本語授業を受けさせると同時にJLPTの受験をさせる指導をすることで対策する予定です。
- 留学生の就職希望者と企業側の採用基準があっていないため、職種等によって進路決定が難しいと感じます。
- 日本人学生の就職活動は順調だったが、日本語能力が低い留学生は苦戦した。
- 推薦枠や学校求人に対して、合格を前提とした意識が強く、辞退できないことへのプレッシャーからエントリーを避けてしまう傾向がある。また、自分が企業を選ぶだけでなく、企業から選ばれる立場という認識が不十分であり、慎重になりすぎて動き出しが遅い傾向も見られる。
- すでに2027年採用が始まっており、内定も出ております。年々新卒採用が早まっている傾向にあります。就職対策は入学時より行わないと間に合わない状況です。

■第7分野－服飾・家政関係

- 就職活動が年々早期化している中で、1年生の後期（10月）から就職に関する授業を行っていま

す。主に、自己探求、面接練習、履歴書、エントリーシートの記入方法を中心に進めていますが、好きな物ははっきりしているのだが、自己探求が出来ない学生が多いと感じています。なぜ好きなのかを言語化できるよう指導し、就職活動にあたるよう話をしてきました。また、例年のことですが、早期から就職活動する学生と、なかなか就職活動をしない学生の2極化が強く、教職員一同悩んでるところです。次年度も根気強く指導していきたいと思います。

- コロナ禍に学内外活動の制限を受けた影響と社会的なワークライフバランス重視の傾向もあり、学生から初任給や年間休日に関する質問が増え、学生が企業選びで重視する点として「安定している会社」が増加傾向にある。企業側も近年の学生の志向に鑑みて、会社説明会では福利厚生の充実化や会社の制度の説明に時間を充て、自社の特徴と魅力を発信している。学校としては、例年以上に下級年次生に向けて早期インターンシップ情報の案内や授業科目インターンシップの充実化を図り、学生が企業を知る機会を増やしている。企業の採用担当者との情報交換の際には、学生の志向を共有し、企業においても制度の見直し等にご活用いただいている。
- 早期化⇒早々期化の流れで企業の採用活動が早まっており、一部学校の授業を休んで選考へ参加させないといけないケースが増えたように感じます。これ以上の早期化が進むと学業にも支障が出てしまう事が心配です。
- 企業の活動が前倒しになっている中、2年制の専門学校生にとって初動のタイミングを合わせるのが難しい状況です。1年生の最初から、自分の卒業後の進路を考える機会を面談や授業の中で取り入れ、1年生の後期からはより実践的な就活指導に重点をおくようにしています。

■第8分野－文化・教養関係

- 就職指導は毎週時間を専用にとって行っていますが、全員のベクトルを同じ方向に向けるのは大変です。例年早期に決定する学生とダラダラとぎりぎりまで決まらない学生と分かれます。
- 内定辞退を行うことへの心理的ハードルが下がっている。(職業選択の自由により、辞退しても法律上問題ないとの理解がSNS上で広がっている)
- 専門職の就職が難しいと感じている。
- N2以上の学生は対象となる求人が多いので、JLPT取得に向けて対策強化をしている。
- 企業によっては内定の約束が書類等で交わすのではなく、口約束の企業もあり、学生自身が内定を頂いているのか保留なのかがわからない状況もあった。
- 新学年となる4月から動き始めるが、マイナビやリクナビは志望業界(デザイン・制作系)の求人が少ないため、学校の求人票やSNSも活用している。また、新卒応援ハローワークの利用も勧められており内定につながるケースもあるが、社保加入がない雇用形態やブラック気質の企業も見られ、求人の質には一部懸念がある。
- 内定を得た後に「果たしてこの会社で本当に良いのか」と迷いだす学生が以前より増えたように感じる。(以前は内定を得たらほぼその会社に迷わず入社していたが・・・) また、近年からだが、地元志向が強く、「勤務地：全国」や「転勤：有」という企業に抵抗を感じがち。
- 音楽業界全体が求人に対して早期化している会社と、もの凄く遅い会社と2分している。また、環境面、育成面での手厚さが増している。

- 複数店舗を有している企業への就職希望者が増えている。
- 愛玩動物看護師やトリマーの求人は多く、早期に内定がでるため、就職活動が年々早まっているように感じられる。
- 生成 AI を活用しながら自己 PR や志望動機を作成する姿が一部見受けられました。本人らしさにかける文章であるため添削時には自分の言葉に直すよう指導をしています。今後も生成 AI を活用した就職活動が一般化すると思いますので、本人の自己特性と本人らしさを面接官に伝えられるよう引き続き指導にあたります。
- 留学生の専門学校生に対する技人国ビザの就職先はまだ厳しいものを感じます。ビザ申請の事を考えると企業側も二の足を踏むのかもしれませんが、人手不足の事もあり、日本語力の乏しい外国人のフォローをする人材がないという事もネックだと感じられます。
- 就職活動を積極的に行わない学生のほとんどがメンタル面での不調を訴えており、メンタルヘルスの整備が急務である。
- 全体の就職活動が早期化しているのか、応募を早く打ち切る企業が多くなったように感じております。その為、本校においても動き出しが遅い生徒は働きたい業種へのエントリーが難しくなっております。今年度も早い動き出しをしておりましたが、さらに早い動き出しをして対策しております。
- 大手を中心に募集活動の早期化が進んでいる。そのため、特に大手希望者に対しては年末に「大手企業対策セミナー」を開催し、学生が早めに動ける環境を整えるようにしている。
- スポーツ・ヘルスケア産業においては、年々選考日程が早まってきている印象を受けますので、学生に対して、早期の動き出しの促しが必要だと感じます。
- 本校の場合、エンターテインメント業界へのデビューを希望する者が大半となるため、例年、通常の就職活動の開始が遅くなり、また受験企業数も少ない傾向がある。ただし、近年、一般企業への就職に関心を示す学生の数が増えつつある。
- 求人社数は増えているが、全体的に募集人数が減っていて、書類選考通過が難しかった。このため、個人対応を増やした。
- 日本語能力が低い（N2 が取れていない）技人国ビザの取得が厳しい学生群（ネパール出身）への指導（現実を認識させる）が行き届かず、特定技能試験の受験も進まなかった。結果として日本での就職先が決まらず帰国せざるを得ない学生が多くなってしまった。
一方、丁寧な個別就活指導を受けた学生達はほぼ希望通りの就職先を見つけることができた。
今後は、入学直後あるいは入学説明の段階から日本での就職に関する最新情報を伝えるとともに、個別就活指導に注力することが必須である。
- 近年、アニメ・クリエイティブ業界の就職は競争が激しい状況が続いています。本校では専門分野に関連する業界への就職を目指し、ポートフォリオ指導や就職活動のサポートを行っていますが、業界の採用枠が限られていることもあり、視野を広げて専門分野以外の業界への就職を選択する学生も徐々に増えています。今後も学生一人ひとりの希望や適性に応じた進路支援を行っていきたいと考えています。
- 大手企業のみ志望する学生が増えているため、なかなか内定が決まらないことがある。

■就職内定状況 (分野学科区分毎修業年限別)

内定率総合

分野・学科区分		就職希望者数に対する就職内定率				関連分野 就職率	事業所が東京都内 にある就職率
		修業年限	10月末	12月末	2月末		
第1分野	土木、建築、測量	1年制	59.8%	68.5%	90.1%	100.0%	62.1%
		2年制	60.6%	75.4%	87.3%	99.0%	62.0%
		3年制	46.2%	80.6%	91.7%	100.0%	78.8%
		4年制	86.6%	89.2%	92.6%	99.0%	78.1%
		小計	67.3%	77.8%	89.3%	99.2%	66.9%
	自動車整備	1年制	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	47.6%
		2年制	86.3%	96.1%	99.1%	99.8%	54.9%
		3年制	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%
		4年制	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	42.8%
		小計	89.3%	97.0%	99.3%	99.9%	52.2%
	情報処理・IT	1年制	-	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%
		2年制	68.9%	71.8%	83.2%	83.8%	87.3%
		3年制	66.4%	77.6%	90.5%	73.4%	90.9%
		4年制	92.4%	98.7%	98.7%	98.7%	94.9%
		小計	70.2%	73.8%	84.9%	83.5%	88.2%
	電気・電子、機械	1年制	22.2%	29.4%	100.0%	100.0%	100.0%
		2年制	58.7%	71.1%	92.9%	93.5%	82.1%
		3年制	-	-	-	-	-
		4年制	-	-	-	-	-
		小計	57.8%	70.2%	93.0%	93.6%	82.3%
	ゲーム・CG	1年制	-	-	-	-	-
		2年制	45.6%	59.1%	75.1%	86.3%	71.3%
		3年制	26.0%	53.4%	86.7%	80.6%	82.3%
		4年制	98.0%	99.3%	99.3%	100.0%	64.2%
小計		61.2%	71.7%	84.4%	90.9%	69.9%	
その他	1年制	-	-	-	-	-	
	2年制	54.4%	74.1%	89.6%	86.4%	87.1%	
	3年制	42.4%	73.3%	92.9%	90.4%	73.1%	
	4年制	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	
	小計	60.6%	77.9%	92.0%	89.6%	77.6%	
第2分野	バイオテクノロジー、その他	1年制	-	-	-	-	-
		2年制	86.5%	97.1%	100.0%	97.1%	70.6%
		3年制	-	-	-	-	-
		4年制	-	-	-	-	-
		小計	86.5%	97.1%	100.0%	97.1%	70.6%
第3分野	看護	1年制	98.3%	96.7%	98.3%	98.3%	63.8%
		2年制	88.9%	100.0%	100.0%	100.0%	73.7%
		3年制	91.6%	95.1%	95.7%	99.8%	79.8%
		4年制	92.9%	100.0%	100.0%	91.1%	62.5%
		小計	92.0%	95.6%	96.2%	99.2%	77.7%
	臨床検査、診療放射線、臨床工学	1年制	80.0%	92.9%	100.0%	100.0%	38.5%
		2年制	-	-	-	-	-
		3年制	13.3%	23.3%	36.9%	98.7%	42.3%
		4年制	83.3%	83.3%	59.1%	84.6%	46.2%
		小計	17.0%	26.9%	39.9%	97.7%	42.3%
	理学療法、作業療法	1年制	-	-	-	-	-
		2年制	-	-	-	-	-
		3年制	33.0%	56.1%	72.3%	96.5%	67.2%
		4年制	49.4%	71.3%	91.3%	97.2%	61.1%
		小計	41.7%	64.2%	81.8%	96.9%	63.8%
	柔道整復	1年制	-	-	-	-	-
		2年制	-	-	-	-	-
		3年制	66.4%	81.1%	90.8%	94.6%	62.2%
		4年制	50.0%	75.0%	84.6%	95.5%	68.2%
		小計	65.8%	80.9%	90.5%	94.6%	62.5%
	はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧	1年制	-	-	-	-	-
		2年制	-	-	-	-	-
		3年制	56.8%	62.5%	68.7%	90.0%	76.9%
		4年制	-	-	-	-	-
小計		56.8%	62.5%	68.7%	90.0%	76.9%	
歯科技工、歯科衛生	1年制	-	-	-	-	-	
	2年制	41.7%	69.9%	82.3%	100.0%	52.3%	
	3年制	53.5%	66.1%	73.7%	96.0%	54.0%	
	4年制	-	-	-	-	-	
	小計	52.5%	66.3%	74.3%	96.3%	53.8%	
その他	1年制	50.0%	60.3%	81.3%	100.0%	71.2%	
	2年制	60.8%	61.0%	67.7%	100.0%	58.2%	
	3年制	46.6%	79.9%	88.8%	99.4%	62.9%	
	4年制	-	-	-	-	-	
	小計	52.2%	68.6%	78.2%	99.7%	62.3%	
第4分野	栄養、調理	1年制	40.4%	57.2%	84.2%	97.4%	75.5%
		1.5年制	55.6%	55.6%	100.0%	100.0%	100.0%
		2年制	59.4%	71.2%	86.4%	96.4%	79.3%
		3年制	72.4%	75.0%	96.6%	100.0%	71.4%
		4年制	48.4%	51.1%	56.2%	48.0%	90.0%
		小計	53.1%	65.7%	84.3%	94.9%	78.5%
	製菓	1年制	58.7%	73.6%	83.8%	99.5%	76.6%
		2年制	62.9%	75.1%	84.0%	99.6%	81.4%
		3年制	83.3%	83.3%	83.3%	100.0%	100.0%
		4年制	-	-	-	-	-
		小計	61.8%	74.8%	83.9%	99.6%	80.1%
	理容、美容	1年制	63.6%	90.7%	96.3%	100.0%	90.4%
		2年制	79.5%	88.9%	95.0%	99.6%	86.0%
		3年制	85.5%	90.9%	97.0%	100.0%	84.4%
		4年制	-	-	100.0%	100.0%	100.0%
		小計	79.6%	89.0%	95.1%	99.6%	86.0%
	エステ・メイク・ネイル	1年制	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		2年制	73.1%	81.2%	89.9%	98.3%	85.4%
		3年制	-	-	-	-	-
		4年制	-	-	-	-	-
		小計	73.4%	81.4%	89.9%	98.4%	85.5%

分野・学科区分		就職希望者数に対する就職内定率				関連分野 就職率	事業所が東京都内 にある就職率
		修業年限	10月末	12月末	2月末		
第5分野	保育、教育	1年制	-	-	-	-	-
		2年制	30.0%	65.5%	89.8%	98.0%	71.5%
		3年制	51.4%	77.1%	96.7%	99.3%	92.5%
		4年制	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		小計	33.4%	67.4%	90.9%	98.2%	75.0%
	介護福祉	1年制	57.1%	62.5%	62.5%	20.0%	20.0%
		2年制	58.5%	73.3%	88.5%	99.4%	84.5%
		3年制	-	-	-	-	-
		4年制	-	-	-	-	-
		小計	58.5%	73.0%	88.0%	98.1%	83.5%
	社会福祉	1年制	57.0%	43.0%	51.7%	95.0%	60.0%
		2年制	-	-	100.0%	100.0%	91.7%
		3年制	-	-	-	-	-
		4年制	47.4%	47.4%	84.9%	93.3%	64.4%
		小計	53.3%	43.8%	59.6%	94.9%	63.3%
	その他	1年制	31.3%	19.4%	33.9%	88.1%	81.0%
2年制		-	-	-	-	-	
3年制		-	-	-	-	-	
4年制		-	-	-	-	-	
小計		31.3%	19.4%	33.9%	88.1%	81.0%	
第6分野	簿記・ビジネス・IT	1年制	66.7%	81.0%	95.2%	100.0%	100.0%
		1.5年制	-	-	-	-	-
		2年制	33.7%	44.7%	60.4%	96.1%	75.2%
		3年制	-	-	-	-	-
		小計	34.1%	45.0%	60.8%	96.0%	75.7%
	旅行・ホテル・観光・プライダル	1年制	-	-	-	-	-
		2年制	81.5%	86.5%	89.5%	95.6%	72.5%
		3年制	93.5%	98.9%	100.0%	100.0%	80.4%
		4年制	93.3%	93.3%	93.8%	100.0%	100.0%
		小計	82.5%	87.5%	90.2%	96.0%	73.4%
	医療秘書、医療管理事務	1年制	14.3%	14.3%	14.3%	100.0%	100.0%
		2年制	73.2%	84.8%	91.4%	96.1%	56.7%
		3年制	81.3%	88.2%	92.6%	100.0%	74.6%
		4年制	-	-	-	-	-
		小計	68.8%	83.8%	89.7%	97.1%	61.5%
	その他	1年制	-	-	-	-	-
2年制		32.0%	50.4%	80.5%	96.3%	91.6%	
3年制		-	-	-	-	-	
4年制		-	-	-	-	-	
小計		32.0%	50.4%	80.5%	96.3%	91.6%	
第7分野	服飾・家政	1年制	49.3%	59.5%	69.2%	92.1%	88.9%
		2年制	34.6%	44.8%	68.7%	82.9%	79.8%
		3年制	44.0%	64.3%	84.5%	95.5%	85.4%
		4年制	36.6%	50.5%	78.2%	92.6%	86.8%
		小計	39.6%	54.3%	75.9%	90.0%	83.5%
第8分野	語学	1年制	-	29.4%	29.4%	80.0%	100.0%
		1.5年制	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		2年制	37.1%	47.5%	62.5%	77.0%	70.5%
		3年制	0.0%	0.0%	0.0%	-	-
		小計	37.0%	47.2%	61.9%	77.1%	70.8%
	美術、デザイン、写真	1年制	-	-	-	-	-
		2年制	30.5%	43.8%	63.2%	72.2%	83.3%
		3年制	36.9%	49.9%	65.7%	76.0%	81.5%
		4年制	-	75.0%	75.0%	33.3%	100.0%
		小計	33.5%	46.7%	64.3%	73.7%	82.6%
	音楽、演劇、映像、放送	1年制	11.1%	11.1%	12.5%	100.0%	100.0%
		2年制	31.7%	41.9%	62.8%	83.3%	78.4%
		3年制	51.0%	59.6%	83.0%	95.5%	93.2%
		4年制	46.2%	46.2%	61.5%	87.5%	87.5%
		小計	33.3%	43.0%	63.5%	84.4%	79.9%
	法律行政	1年制	19.6%	54.5%	90.9%	96.3%	53.8%
2年制		36.5%	66.6%	90.4%	94.9%	65.7%	
3年制		-	-	-	-	-	
4年制		71.7%	90.4%	98.1%	92.5%	98.1%	
小計		40.1%	67.2%	91.2%	94.9%	67.1%	
スポーツ	1年制	-	-	-	-	-	
	2年制	57.1%	78.3%	84.0%	90.5%	73.6%	
	3年制	78.9%	82.1%	96.2%	96.0%	80.0%	
	4年制	56.0%	91.7%	91.7%	68.2%	50.0%	
	小計	58.8%	79.2%	85.1%	89.6%	72.7%	
動物	1年制	-	-	-	-	-	
	2年制	60.9%	65.1%	76.3%	91.1%	58.8%	
	3年制	75.5%	83.3%	92.2%	95.0%	42.6%	
	4年制	41.7%	72.2%	83.3%	60.0%	40.0%	
	小計	67.7%	72.8%	83.1%	92.4%	50.9%	
アニメ、声優、ゲーム	1年制	-	-	-	-	-	
	2年制	29.7%	43.3%	77.9%	70.9%	75.6%	
	3年制	-	-	-	-	-	
	4年制	-	-	-	-	-	
	小計	29.7%	43.3%	77.9%	70.9%	75.6%	
その他	1年制	-	-	-	-	-	
	2年制	26.5%	48.2%	75.5%	93.2%	69.8%	
	3年制	-	-	-	-	-	
	4年制	-	-	-	-	-	
	小計	26.5%	48.2%	75.5%	93.2%	69.8%	
日本語科	1年制	6.7%	6.7%	13.3%	100.0%	100.0%	
	1.5年制	-	-	-	-	-	
	2年制	0.0%	24.0%	25.0%	100.0%	33.3%	
	3年制	-	-	-	-	-	
	小計	2.5%	17.5%	20.5%	100.0%	50.0%	
総平均	1年制	50.3%	58.1%	75.4%	97.2%	71.7%	
	1.5年制	55.6%	60.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	2年制	54.5%	67.0%	80.7%	93.3%	76.3%	
	3年制	56.4%	70.1%	80.1%	94.1%	70.1%	
	4年制	75.3%	83.8%	91.4%	95.0%	67.6%	
	総平均	56.0%	68.1%	80.9%	93.8%	74.2%	

国家資格試験の発表時期などの関係から、分野・学科によっては就職内定時期が4月以降になる場合がある。